

海を渡る卵「まんげつ濃厚卵」 __ 鶏卵（生卵）輸出、2周年に向けて、販促活動続けます！

4/13 発生、(熊本県)鳥インフルエンザも一時空輸ストップするも、安全性が理解され再開となりました
【新市場創造型ビジネスモデルの実践】

シンガポール向けに鶏卵/付加価値卵（生卵）輸出において新たなマーケットの開拓

■概要：

2012年7月より販売開始した東海地方初のシンガポールへの殻付生卵（chicken shell egg）輸出（中部国際空港発直行便）。今までに現地向けにパッケージラベルデザインを改良したり、週一回の定期便配送、販売先新店舗のOPENや定期的な実施している現地での試食プロモーション活動などを実施してまいりました。

今回、先日実施した試食プロモーションについて報告します。また、鳥インフルエンザ発生後の対応も合わせて報告します。



実施店■伊勢丹シンガポール・スコッツ店
期間■14 / 4 / 11(金) ~ 13(日)

■現地に浸透?! 「まんげつ濃厚卵」 購入者の半数以上が現地ローカルの方でした！



昨年末の新店舗「伊勢丹シンガポール・ジュロンイースト店」開業以来の現地での販売促進プロモーションを行いました。今回は、当初より販売していた「スコッツ店」での実施です。

内容は今までと同じように「温泉たまご」の試食、卵焼き、現地ローカル卵との生卵黄身色比較と現地デモンストレーターによる実演によるものでした。現地シンガポールの方には「生」でたまごを食べる食文化がないため、「たまごの味」をわかっていただける手立てとして、より生卵に近い「半熟=温泉」たまごを提供し、このたまごが持つ黄身の甘さを実感していただきました。また、卵焼きの実演は深く興

味をいただき、作り方のコツなどを聞かれるほどでした。

そして今回は現地で圧倒的な勢いのある「和系ラーメン」からヒントを得て「らーめん煮たまご」のレシピも提供するなどして販促活動をしてまいりました。

在留邦人の方には「いつもこのたまごを買っている」「生で食べるときは、やっぱり日本のたまごが安心だから…」「幼児がいるので信頼できるたまごを選んでいる」「たまごに欠品しているときがあるよ～」などご意見をいただきました。中でも、一番多くいただいたのは、「このたまごは生で食べられますか?」というものでした。やはり、日本の食文化は、健在です。

特に今回は、購入者比率に着目し調査してまいりました。

3日間通した結果・在留邦人 43.5% : 現地ローカル 56.5% … となり、購買意欲旺盛なシンガポールの方々により多く受け入れていただいていた。

試食プロモーション効果もあってか、このように現地の方にも手にとっていただけたことは、これからも継続的に販売するにあたって商品の「より現地化=ローカライズ」する必要もあるのではないかと考えております。ただし、「日本産」というクオリティを維持するのはあたりまえのことで…

参考) まんげつ濃厚卵 = 売価シンガポール\$9.80 (6個入り) … 約798円換算(レート2014.4) *空輸開始時、約640円換算

◎同店内比較商品「現地ローカル卵」シンガポール\$1.80 (6個入り)

■4/13 (熊本) 鳥インフルエンザ発生、即日本からの鶏卵輸出全面ストップ

残念ながら鳥インフルエンザが発生してしまいました。2国間の協定で発生・終息後、6ヶ月間は防疫処置のため輸出が規制されています。

しかしながら、関係機関の迅速かつ的確な初動対応のおかげで、安全性が担保され輸出検疫が再開される運びとなりました。弊社では、こうして発生から10日後の4/23には早くもシンガポール向けに空輸を再開しております。シンガポールの皆様には、これからも安全で安心・新鮮な生卵をお届けしてまいります。



らーめん煮たまご レシピ

